

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会

プライマリ・ケア認定薬剤師研修会＋生涯学習委員会共催

「バイタルサインから見極める緊急疾患」

「プライマリ・ケア薬剤師が知っておくべき禁煙支援の基礎知識」 「実践ワーク！禁煙支援難所克服講座」

(大阪 2018 年 10 月 7 日 日曜日)ご案内(大阪開催)

【一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会は日本医学会の第 109 分科会です。そして、プライマリ・ケア認定薬剤師制度は公益社団法人薬剤師認定制度認証機構(GPC)から「特定領域」の認定制度としての認証(認証番号 P02)を取得いたしております。】

薬剤師に期待される活動と臨床能力は、患者さんの状態・疾患により変化します。

午前の研修は「バイタルサイン」を取り上げます。診療所医師向けのトリアージ&アクションを立ち上げ、薬剤師向けバージョンを構築して下さった齊藤裕之先生と「バイタルサインから見極める緊急疾患」を学び、動きながら緊急疾患を考えられる薬剤師を目指します。ジェネラリスト薬剤師としての総合力が得られ、認定試験にも必須の研修です。

午後の研修は高橋裕子先生を講師に「禁煙支援」を取り上げます。この 10 年で激変した禁煙支援の最新知識と世界の情報、そして禁煙支援難所克服ワークを行います。生活習慣指導・禁煙支援に必須の超強カブラッシュアップです。

(細則による必須領域:A, D, E, I, J)

要 項		
1	主 催	一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会 プライマリ・ケア薬剤師認定制度委員会 + 生涯学習委員会
2	研修開催日	平成 30 年 10 月 7 日(日)
3	研修会場	新大阪丸ビル別館 4 階 533-0033 大阪市東淀川区東中島 1-18-22 案内図 http://marubiru-bekkan.com/access.php
4	認定単位	薬剤師:4 単位 (認定薬剤師単位)、医師:5 単位(更新のための医師単位)を付与
5	受講資格	薬剤師、医師、医療職、医療関係者
6	定員	72名(スモールグループ形式)
7	受講申込	締切り:平成 30 年 9 月 24 日(月)午後 5 時 ホームページからの申込による先着順となり、定員になり次第締切ります。 電話、ファクシミリ、メールによる申込は受付けておりません。
8	受講振込	申込を受理後、順次ご入金方法についてメールでご案内させていただきます。 ※ 指定期日以内にお振込みの確認ができない方は、キャンセル扱いとなりますのでご留意願います。
9	受講料	11,000 円 但し、日本プライマリ・ケア連合学会会員は 9,000 円 ※ 受講料入金後のキャンセル又は欠席の場合、原則として受講料の返金はできません。
申し込み先 : 日本プライマリ・ケア連合学会事務局担当係 プライマリ・ケア認定薬剤師研修会事務局 〒550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀 1-4-8 日栄ビル 703A 有限会社あゆみコーポレーション内 TEL:06-6449-7760 FAX:06-6441-2055 jpc@a-youme.jp		

プログラム

2018年10月7日(日)

9:00～	受付
9:20～12:30 (休憩を含む)	<p>①「 バイタルサインから見極める緊急疾患 」</p> <p>講師:齊藤 裕之</p> <p>患者の緊急性を見極めるバイタルサイン。呼吸と循環の状態は把握する重要な指標となっていることは周知の事実です。でも、皆さんは実際にそこから病態生理や疾患を想起するまで使いこなせていますか。当日は呼吸数の測り方、脈拍の触知の仕方、頸静脈の評価、意識レベルの評価方法を学び、そこから緊急疾患を想起できることを目標とします。 皆さん、動きながら緊急疾患を考えられる薬剤師を目指しましょう。 (細則による必須領域:A,D,G,I,J)</p>
12:30～13:20	昼食 (各自お取りください)
13:20～14:50	<p>②「 プライマリ・ケア薬剤師が知っておくべき禁煙支援の基礎知識 」</p> <p>講師: 高橋 裕子</p> <p>「150平方メートル」「アイコス部屋」「45分ルール」……受動喫煙に関する知識は2004年に、禁煙支援の知識はこの10年に、まったく新しくなりました。さらにアイコスや電子タバコなど、従来になかったタバコ製品が 続々と発売され、多くの喫煙者が使用している状況です。そのような現状の中、プライマリ・ケアに携わる薬剤師が知っておくべき世界の情報や禁煙治療の知識を、基礎からしっかり学んでいただきます。 (細則による必須領域:A,E,I,J)</p>
15:00～16:30	<p>③「 実践ワーク！禁煙支援難所克服講座 」</p> <p>講師:高橋裕子</p> <p>禁煙支援は、やればやるほど実施する側が元気になれる支援です。しかしそれには、「コツ」や「ポイント」があります。この時間はワークもふくめて、禁煙支援の難所を克服する「コツ」や「ポイント」を習得し、明日からの治療・支援に役立てる時間としましょう。 (細則による必須領域:A,E,I,J)</p>

20分以上の遅刻・早退は原則単位になりませんのでご注意ください。

【講師紹介】

(敬称略)

齊藤 裕之 山口大学医学部附属病院 総合診療部

高橋 裕子 京都大学大学院医学研究科・社会健康医学専攻 特任教授